

ZENBUTSU

# 全仏



No.  
556

仏暦2553年 1月  
[2010年]



富士山一 撮影 橋本明禪副会長

目次	新年のご挨拶 松長有慶会長・豊原大成理事長	2
	理事会・評議員会・参与会報告	3
	加盟団体をゆく 第31回 茨城県仏教会	4
	第55回長野県仏教徒上伊那大会報告	4
	東京都仏教連合会成道会・神奈川県仏教会成道会	6
	全日本仏教婦人連盟主催「東儀秀樹チャリティーコンサート」	7
	「世界宗教会議」報告	8
	財団創立五十周年記念事業解散報告式	9
	「花まつり」ポスター頒布のお知らせ	20

# 新しい年を迎えて



会長

松長 有慶

平成二十二年の年頭にあたり、皆さまの御健勝と更なる御活躍と世界の平和を祈念いたします。

昨年はチェンジが合言葉になったように、変革の多い年でした。政治や経済の面のように派手で劇的ではありませんが、仏教界にもまた静かな地殻変動の兆しが押し寄せてきているように思えます。

近年の社会現象ともいえる人口の都市集中化、地方の過疎化による従来の檀家制度の疲弊あるいは崩壊、人々の宗教離れの促進など、仏教界にとり看過することの出来ない事態が急速に進展しております。

といっても人々が仏教にまったく背を向けたわけではなさそうです。有名な仏像を拝観するために長蛇の列もいわず、あるいは癒しを求める人が著

名人の仏教講話に群がります。

人々は仏教に関心をもっているが、既成の仏教教団や僧侶に期待を持ちづらくなった時代ともいえるでしょう。

仏教バッシングの時代はまだ反省のゆとりがありました。いまや「仏教バッシング」の時代の到来が危惧されま

す。このような社会の仏教に対する視角の変化に対して、仏教の教団の側が病める日本の社会に対して、どのような治療薬を用意しているのか。従来の宗派の垣根を越え、一致して真剣に考える段階にあるといえます。

新旧の各仏教教団を束ねる唯一の機関である全日本仏教会は今年もまた、現代人の渴望に的確に応える姿勢を保ち続けたいと思えます。

# 年頭のご挨拶



理事長

豊原 大成

平成二十二年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、発足五十周年の諸行事が盛大に行われました平成十九・二十年年に比べますと、本会にとりまして、昨年は比較的無事な一年間ではなかったかと考えております。

しかし一方、一般社会に目を向けますと、幾つかの国での内戦、天災をはじめ、世界的な経済不況、雇用不安などと共に、我が国でも、信仰心やモラルの低下が懸念される、非常に厳しい状況下にあったと言えそうです。

不可抗力の問題もありますが、政治、外交、経済などの問題の解決のためには、今年こそそれぞれ専門家のご尽力に期待せねばなりません。

しかしながら、しばしば耳にするところで、学校の善し悪しは先生で決

まる、と。病院も同じでしょう。何事も、その衝に当たる人びとの能力と熱意が成否を決めるとすれば、信仰と、それに基づくモラルの問題は、当然、

私たち宗教家の責任に掛かる部分が大きいと思います。

積尊の勤苦六年、いや八十年のご生涯は、決してご自身だけの転迷開悟のためではなかったことは申すまでもありません。

幸いにして遺弟の仲間に入らせていただいた私たちは、如來の教誡を仰ぎ、先師諸先達のご教示を慕いつつ、更に一層固く手を携えて、人類の真に輝く未來への歩みを進めて参りたいと思います。

本年も何とぞよろしくご高導のほど、お願い申し上げます。

合掌

## 理事会・評議員会・参与会開催

十二月三日(木)  
於 ザ・プリンスパークタワー東京

本会寄附行為に基づき、理事会議長を豊原大成理事長がつとめ、評議員会議長に宮寺守正評議員(全日本仏教青年会)が選出された。

会議の議事は、まず午後一時より行われた第二十九期会長・副会長推戴委員会を受け、小松浄慎推戴委員会委員長より審議経過及び答申が報告され、理事会にて第二十九期会長・副会長の推戴を議決した。

### ・第二十九期会長

河野太通(臨濟宗妙心寺派次期管長)

### ・副会長

福家俊明(天台寺門宗管長)

大矢實圓(真言律宗管長)

菅原栄光(栃木県仏教会会長)

正田哲寿(鳥取県仏教連合会会長)

続いて、理事・評議員・参与の変更がそれぞれ審議され、承認された。

### ・理事(常務理事)

退任 不二川公勝(浄土真宗本願寺派)

不破 仁(真宗大谷派)

就任 橋 正信(浄土真宗本願寺派)

竹田恵示(真宗大谷派)

### ・評議員

退任 百山敬祥(浄土真宗本願寺派)

関崎幸孝(真宗大谷派)

安田義樹(真宗木辺派)

大井 亮(青森県仏教会)

就任 池田行信(浄土真宗本願寺派)

田代賢治(真宗大谷派)

吉川恵教(真宗木辺派)

佐藤彰瑞(青森県仏教会)

### ・参与

退任 鬼頭誠英(浄土宗西山禅林寺派)

加藤乗安(本門佛立宗)

川島謙宗(京都府仏教連合会)

就任 久我儼昭(浄土宗西山禅林寺派)

川手誠誓(本門佛立宗)

小宮一雄(京都府仏教連合会)

評議員会・参与会協議事項、理事会議案として、財団創立五十周年記念事業の終結について、経緯及び事業報告、収支の現況が齋藤明聖記念事業実行委員会総務部会長より報告され、全会一致で賛同・承認された。

続いて、本財団の公益財団法人への移行について協議された。前回までの理事会・評議員会・参与会において本財団は公益法人への移行を目指すという方向性に賛同を得ており、総務財政審議会での進捗と課題及び計画が事務局より説明された。

専門的な事項に関してはコンサルタ

「WFB人道支援基金運営委員会」が

新設され、自身が委員長に就任した事などが報告された。(詳細は『全仏』

五五四号・五五五号に掲載)

### 二・各部報告

総務部より、政府より依頼された朝鮮半島出身の旧民間徴用者等の遺骨調査に関して、内閣官房、厚生労働省及び外務省より寄せられた報告及びお願いに関して説明。

続いて、広報文化部より、機関誌『全仏』広告協賛、花まつりの全国展開のためのポスター・絵はがき作成等の取り組み、ホームページ運用現況について資料に基づき報告された。

国際部より、WFB本部表敬訪問・ルンビニー園参拝のツアーの参加者の募集について、また十二月三日〜九日のオーストラリア・メルボルンの世界宗教会議に戸松義晴国際交流審議会副委員長が出席中であること、平成二十二年一月二十六日〜三十一日の世界経済フォーラム(スイス・ダボス会議)に松長有慶会長が出席予定であることが報告された。(関連記事八頁)

理事会・評議員会・参与会終了後、財団創立五十周年記念事業実行委員会解散報告式及び仏教懇話会が開催された。(関連記事九頁)

移行について協議された。前回までの理事会・評議員会・参与会において本財団は公益法人への移行を目指すという方向性に賛同を得ており、総務財政審議会での進捗と課題及び計画が事務局より説明された。

また、平成二十二年度事業計画・予算大綱が事務局より説明され賛同を得た。

続いて、前回(五月二十九日)開催の理事会・評議員会・参与会において賛同を得て継続審議となっていた、大蔵経研究推進会議への協力について協議された。

大蔵経テキストデータベース研究会 下田正弘代表(東京大学大学院教授)より、運営・予算等について資料に基づき説明され、全会一致で賛同の意が示された。

報告事項として、以下について報告された。

一・WFB(世界仏教徒連盟)執行役員会議報告

小林正道常務理事(WFB副会長)

より、十月六日からタイ・バンコクで行われた会議について報告され、既存の常設委員会である「WFB人道支援委員会」の活動を財政面で支える為の

# 加盟団体をゆく

## 《第三十一回》茨城県仏教会

今回は茨城県仏教会を訪ね、寺門俊文会長、川井融顕事務局長、中村純亮広報部長、大貫広暢総務主事にお話を伺いました。

茨城県仏教会は他県仏教会のように市町村の仏教会の集合体ではなく、各宗派の連合組織で運営されている仏教会というのが大きな特徴の一つです。



(左より) 大貫総務主事・中村広報部長・寺門会長・川井事務局長

―貴団体の活動で、継続的に、また特に力を入れていらっしゃる点についてお聞かせ下さい。

茨城県仏教会は昭和五十七年に仏教会規則の改定を行い、現在のような体制にて新たに活動を開始しました。現在七百四十八ヶ寺、十二宗派が加盟しています。

宗派の垣根を越えての交流は、支部長クラスが個人的にお付き合いしている程度に留まる場合が多いのが現状です。加盟各宗派の事業や活動を把握し、加盟各寺院への情報提供を図るため、現在広報誌(仏教会会報)の作成に取り組んでいます。

また、現在加入・未加入寺院の名簿の整理を計画しておりますが、未加入寺院の加盟促進を行っていかれると思います。

継続的事業としては、全日本仏教会及び茨城県宗教連盟主催の研修会や理事会、その他の定期的な

事業に関して積極的に参加・協力を呼びかけ参加者を募っています。特に全日本仏教会主催の研修会は示唆に富むものが多く、今後より多くの出席者を募っていきたいと思います。

将来的事業としては、加盟の各宗派支所長クラスの懇談会や、県内地域仏教会の代表者が集まれる場を計画するなど、地域的な諸問題にも宗派を超えて当たれるよう、仏教会の活動の活発化を図っていきたく考えています。

―今後の仏教界の在り方について、指針をお聞かせ下さい。

「葬式仏教」というと仏教界に対する蔑称のように捉えられている方もいると思いますが、現状は「葬式仏教」すら危うくなっているのでは、と危機感を募らせています。

茨城県でも、都市部では葬儀を行わない「直葬」が徐々に増加しており、一方農村部等ではまだまだ従来通りの、人と人の繋がりを大事にした葬儀が営まれております。

人々の「死」への考え方が変化してきたと思っている方もいらっしゃると思いますが、一つ大きな影響と

してはマスメディアが「都会的なものが良く、田舎は古くさい」という流行を作ってきた部分があるように感じます。

しかし、葬儀の場を失うという事は、自分の先祖への感謝の思いと、故人が生前関わりのあった人とのご縁を繋げる機会を失ってしまい、より人と人との関係が希薄になってしまいます。そうした影響が昨今の悲惨な事件や色々な問題に出ているのではないかと感じます。

昨今、市民は寺院に対して、檀信徒の教化はもちろんのこと、社会貢献に関わる事も非常に期待していると感じます。寺院の本来の姿は地域密着であり、布教や地域への貢献は説法だけでは難しいと思います。

地域のボランティア活動や各種団体と連携を深め、地域の力を借り、寺院を媒体として人と人との交流を深めていく。希薄になってしまっている人と人との繋がりを取り戻す事が、「人の死」をもう一度考えなおす機縁になると思います。

また、寺院や僧侶は「自分のや  
っている事をことさらアピールし  
ない」のが美德、とされている風  
潮は古来よりあると思います。

しかしながら、悪徳業者が不活  
動になっている宗教法人を悪用  
し、脱税やスキャンダラスな事例  
は大々的に報じられている一方  
で、宗教界、特に仏教界の社会貢  
献活動等の良い活動はあまり報じ  
られていません。

社会貢献を進めていく一方で、  
宗派や仏教会が連携を深め、より  
効果的な広報活動に尽力していく  
ことがより重要度を増してくると  
思います。

—昨今の様々な社会問題につい  
て、感じていらつしやる思いをお  
聞かせ下さい。

いじめや幼児虐待の問題や、昨  
今の悲惨な殺人事件に共通する問  
題点は、お互い同じ人間なのだ、  
という連帯感が欠落してしまっ  
ているのが大きな問題の一つでは  
ないかと思えます。都市集中型の生  
活への移行がどんどん進み、様々  
な職業・立場の人々が混在するラ  
イフスタイルもこの状況に拍車を

かけています。

このような社会で、どうしたら  
適切な人間関係を構築してゆける  
のか。生活が欧米化しているのな  
ら、他宗教を信奉する海外の思想  
や生活様式にも大いにヒントがあ  
るのではないか、と思えます。

宗教や思想が異なる国からも積  
極的に智恵を頂き、研究を進め、  
その中で仏教も力になってゆきた  
い、と考えております。

県仏教会加盟寺院のご住職方に  
は、保護司会に所属したり、教誨  
師を勤める僧侶も多くいます。

近年は、受刑者が出所後、社会  
復帰のため就職先を探してもなか  
なか就職先が見つからないのが現  
状です。協定要請の相談が多く寄  
せられます。こうした問題に関し  
て地道に仏教界が協力や活動を続  
けていくことこそ、現代の社会問  
題への解決の一助になっていくの  
ではないかと思えます。

—(財)全日本仏教会へのご要望や  
ご意見がありましたらお聞かせ下  
さい。

全日本仏教会主催の研修会是非  
常に有用であり、今後是非継続

して頂きたいと思えます。また、  
そうした研修会を今後各仏教会で  
開催する際に、講師の紹介をして  
頂けると非常に助かります。

今後、各都道府県仏教会がよ  
り交流を深めていけるような行事  
等を開催頂ければ、我々もより連  
携・協力を深めていけるのではな  
いかと思えます。

(談)

#### 四国地区仏教会連合主催 ダライ・ラマ法王十四世 四国特別講演会開催される

愛媛県仏教会は二〇〇九年の総  
会でダライ・ラマ法王十四世猊下  
を四国に招聘し、特別講演会を開  
催することを決議して、四国地区  
他三県の仏教会に協力を求め、四  
国地区仏教会連合を結成し四国特  
別講演開催の事業を推進しまし  
た。

十一月三日、愛媛県武道館を会  
場に「自分を幸せにする生き方」  
と題した特別講演会が開催され、  
四日には、僧侶及び寺族を対象に  
「現代僧へのメッセージ」の演題  
で講演会が開催されました。会場  
はいずれも超満員となり、法王が

説かれた「他人を慈しむところ」  
に聴衆は感動し、仏法に点頭しま  
した。

また二日には、ダライ・ラマ法  
王十四世猊下がチベットからイン  
ドに亡命して五十年、ノーベル平  
和賞受賞二十年の節目を迎えた二  
〇〇九年、世界平和を祈念してチ  
ベット式仏塔ナムゲル・チュール  
テンを萩生寺に建立され、法王ご  
自身が開眼供養を行いました。

開眼法要及び三日の特別講演会  
には松長有慶高野山真言宗管長も  
参列し、ダライ・ラマ法王猊下と  
一時間余りの対談が行われた。



開眼法要を行うダライ・ラマ法王十四世猊下

(愛媛県仏教会より提供)

### 第五十五回長野県仏教徒上伊那大会

十一月二十一日 長野県駒ヶ根市「駒ヶ根総合文化会館」において、「第五十五回長野県仏教徒上伊那大会」が『地球に感謝・先祖に感謝』の大会テーマで開催された。本会よりは、深澤信善事務総長・中村澄枝広報文化部長が出席した。

本大会は、第一部「法要」・第二部「式典」・第三部「記念講演」・第四部「閉会式」の四部構成で開催された。

法要は、長野県仏教会会長 小松玄澄師（善光寺大勧進貫主）の導師により執り行われた。

法要中、般若心経の後、「仏法興隆・世界平和・国土安穩」の回向・祈願が行われた。

第二部「式典」では、大会委員長 長野県仏教会会長 小松玄澄師・大会実行委員長 上伊那仏教会会長 上野徳修師らの挨拶が続き、本会より深澤信善事務総長が祝辞を述べた。

午後二時二十分からの第三部「記念講演」では、講師の水前寺清子氏が「ありがとう」の演題で講演をおこない、会場に詰めかけた約八百名の聴衆が聞き入った。

第四部の「閉会式」では、今回のテーマを主題に大会宣言文が決議され、上伊那仏教婦人会会長 下平きみ多氏によって読み上げられた。

第五十五回長野県仏教徒上伊那大会 大会テーマ『地球に感謝・先祖に感謝』

一、地球は火の海になったり凍結したりして何回も絶滅の危機にありながらさました。地球に生きていることに感謝し、温暖化の中で環境に優しく、地球に優しくしましょう。そして生命と環境の調和をめざしましょう。

二、父と母で二人、父と母の両親で四人、十代前で千二十四人、二十代前では百万人を超えます。先祖から戴いた命、今ここに生かされている命に感謝しましょう。

右 宣言する。  
平成二十一年十一月二十一日

最後に、更埴仏教会会長 中沢要良師の挨拶で、本大会を閉会した。

長野県仏教会は、県内を三つのブロックに分け、それぞれの地域仏教会が、超宗派寺院協力の下、この仏教徒大会を毎年盛大に開催している。

次回「第五十六回 長野県仏教徒大会」は、更埴仏教会の担当により、二〇一〇年六月五日（土）開催の予定である。



小松玄澄長野県仏教会会長を導師に法要が厳修された

### 神奈川県仏教会成道会

十一月二十日、神奈川県西有寺にて平成二十一年度神奈川県仏教会成道会が開催され、本会より、西野良嘉広報文化部次長が参加した。

午後二時半より第一部の成道会法要が本間孝康神奈川県仏教会会長を導師に厳修された。

第二部の記念講演が三時より、正木晃慶義塾大学文学部講師を招き「現代の葬儀を考える」のテーマで行われた。

正木氏は、昨年十二月新社団財団法施行以後、宗教法人に対する課税強化の流れが強くなり、「地域に寺院があること自体が公益性をも

つ」という認識を広めるために危機感を持って戦わないと寺院は今後大変な事になるといって、問題提起が行われた。

具体的方策としては、古来より形成されてきた日本人の伝統的な霊魂感を重視して堂々と葬儀を行う事、どのような寺院でも実行できる（公益性をアピールできる）モデルケースの構築をすること等が提案された。

参加者からは「方策が具体的にわかりやすい」「葬儀のありようを頭から否定してくる者に対しての理論武装として大変勇気を頂いた」という声も聞かれ好評であった。

講演終了後、懇親会が行われた。



正木晃慶義塾大学文学部講師による記念講演が行われた

## 社団法人 全日本仏教婦人連盟主催 「東儀秀樹チャリティーコンサート開催」

十一月三十日、社団法人全日本仏教婦人連盟主催、本会后援の「東儀秀樹チャリティーコンサート」が十六時より、五反田のゆうぼうとホールにて開催され、本会より深澤信善事務総長が出席した。

開会にあたり、実行委員長の末広久美全日本仏教婦人連盟副会長が挨拶。その後、東儀秀樹（箏・東儀九十九（笙）・東儀雅美（龍笛）の三名による演奏が披露された。

第一部では、主に伝統的な雅楽曲が演奏され、後半には東儀秀樹氏による舞も披露された。

休憩を挟み、東儀秀樹氏によるマイクでの挨拶を交えながら演奏再開。第二部はTVCM使用曲である「海と陸を駆けて」等、オリジナル曲をより現代の音楽に近くアレンジした演奏がなされ、会場に集まった千二百名の聴衆より大きな拍手が送られた。第二部終了後、アンコールに込め「地球よ、優しくそこに浮かんでいてくれ」

が演奏され、大盛況の中閉会となった。

全日本仏教婦人連盟は、インド・ブダガヤの日本寺境内に無料診療所「光明施療院」を建設。事業に協力し、三十年以上に亘りその運営資金を支援している。その他、インドで過酷な生活をしている子どもたちの健康・教育機会を確保するための里親運動、戦禍で荒れ果てたアフガンの土地に葡萄の樹を植える復興活動の支援、仏教文化講座の開催等の事業が行われており、本コンサートの参加者全員にも花の種運動の案内及び写経運動への案内が配布された。

当日会場では一本のタオル運動「まけないぞう」の販売も行われ、百五十本が完売。コンサートの収益は、こうした諸活動に今後役立てられる。

社団法人 全日本仏教婦人連盟ホームページ

<http://www.jbwfjp/>

## 国際仏教興隆協会主催シンポジウム 「インドはどこへ行くのか」

十一月十八日、東京・青山の梅窓院で、(財)国際仏教興隆協会主催による連続シンポジウム「第五回インドはどこへ行くのか」が開催された。

安田暎胤理事長の挨拶に続き、「インドは、どこから来たのかーインドの血と混浴文化の成り立ちー」をテーマに、山田明爾龍谷大学名誉教授の講演が行われた。

山田教授は、インドが地勢的に孤立していながらも、先史のアーリア侵入以来、グレコ・ローマやイラン系騎馬民族、アフガン・テュルク、モンゴル系イスラーム勢力、ポルトガル・イギリスほかのヨーロッパ勢力など、いくたびか大波のように流入した異文明・異文化を受けて独特の世界へと熟成している点を説明。また、インドから流出して他世界に強く影響したものは、西への香辛料、そして東への仏教であり、仏教が軸となつて古代インドの異文化交流が行

われたこと。ルンビニーのマヤ夫人像のモチーフがインドのドラビタ文明に淵源を持ち、更に中国の「樹下美人図」に影響を及ぼした事例等を挙げて解説した。最後に正本乗光事務総長が終了挨拶を行った。

### 本会の事業をご理解頂くために

既に加盟団体各位には案内状を送付致しておりますが、本会事業説明の為に、加盟団体へ事務総局員を派遣しております。事業説明資料・派遣費等は本会が負担いたします。宗会或は総会の開催等にお時間を頂きたく、何卒宜しくお願い致します。

### 詳細は左記まで

全日本仏教会 総務部  
電話 〇三―三四三七―九二七五  
FAX 〇三―三四三七―三二六〇

### 事業説明既派遣先

曹洞宗宗務庁 東京都仏教連合会  
天台宗宗務庁 長崎県仏教連合会  
日蓮宗宗務院 滋賀県仏教会  
浄土宗宗務庁

# オーストラリア世界宗教会議に出席



メルボルン国際会議展示場での開会式

集めている。前回は、二〇〇四年にスペインのバルセロナで開催された。

今回は約八千人が参加した。

日程中の四日には「転法輪―仏教の諸相の展開―」をテーマにしたWFBオーストラリアセンター主催によるシンポジウムが開催された。戸松師を始めテイクポク・タン師(WFB副会長・オーストラリア)、ジン・ウォル師(WFB執行役員・韓国)、カメリア・ダルマワン師(WFB執行役員・インドネシア)を提言者に、コーディネーターは国立メルボルン工業大学のマイ・リ・ヌグエン博士が務めた。

シンポジウムでは仏教の様々な方法論(禅・浄土・密教・上座部等)が各師より紹介され、これら是对立するものでなく相互に学び合い尊重しながら歴史の中で傳承されて来た事が説明された。

また戸松師は提言の中で、日本

仏教の伝来から今日に至る歴史と時代背景を解説し、特に鎌倉期に現代まで続く伝統諸宗派が成立した事情と、その教えの特性を浄土教を一例として提示した。

また現代に至り、伝統仏教宗派・団体が全日本仏教会の名の下にそれぞれの特性を生かして連携し、内外に対して対社会的な活動を継続的に展開していることを、WFBの人道支援活動への協力やBNN(仏教NGOネットワーク)等の具体例を挙げて紹介した。

更に、毎年開催される比叡山宗教サミット「世界平和の祈り」、また、バチカン諸宗教対話評議会議長との交流等を紹介し、全日本仏教会および加盟団体がそれぞれの宗教の教えを尊重し対話を重視していること、また本会の目的である全一仏教運動の推進と世界平和の実現に努力していることを紹介した。こうした発表に、会場を埋めた諸宗教関係者からは大きな関心が寄せられた。

今回の会議は、オーストラリア政府、ならびにビクトリア州の全

面的な後援もあってか約八千名の参加者があり、展覧会、各宗教の礼拝・宗教儀礼の実施など多くの行事が行われた。

また、会期中、WFBのテイクポク・タン副会長は大会に参加した各国の仏教徒を自坊に招待し、オーストラリアの仏教の今の姿を参加者に紹介した。



転法輪がテーマのシンポジウムに参加する戸松義晴WFB執行役員(右から二人目)

## 無料法律相談室

本会顧問弁護士 長谷川正浩弁護士の、無料法律相談を毎月第二、第四木曜日の午後開催しております。本会事務局03(3437)9275へ事前予約の上おいで下さい。

十二月三日より九日まで、オーストラリア・メルボルンで世界宗教会議が開催された。  
本会からは戸松義晴国際交流審議会副委員長・WFB(世界仏教徒連盟)執行役員が代表として諸会議に参加、世界各国の宗教者と交流を深めた。  
会議は、一八九三年にシカゴの宗教者を中心となって第一回が開催され、以後長く中断されたが、現在は五年に一度開催され世界各国から毎回数千人以上の参加者を

## 財団創立五十周年記念事業 実行委員会解散報告式



(左より) 野生司祐宏記念誌編纂部会長  
長・豊原大成実行委員会委員長・齋藤  
明聖総務部会長

り五十周年記念事業の経緯及び報告がなされ、全日本仏教会が社会への提言・提唱を進めていく為への課題がいくつか発見できたこと。今後それを生かさなければならぬ、と述べた。

野生司祐宏記念誌編纂部会長からは、記念誌において識者の方々から「仏教界への提言」を寄稿頂き、大変厳しい提言もあったが、今後それを国内のみならず世界に発信できるよう生かしていきたいとの挨拶、及び編纂に協力頂いた関係各位への御礼が述べられた。

解散報告式閉会にあたり、深澤信善事務総長より三期六年に渡る記念事業に物心両面において協力頂いた各位に対する御礼が述べられ閉会となった。

終了後、参加者は引き続き開催された仏教懇話会に出席した。

### 仏教懇話会

同日、同ホテル内にて午後五時三十分より「仏教懇話会」が開催され、衆参両院国会議員六十四名余を含む二百五十名が参加した。

開会にあたり、豊原大成理事長より挨拶。

その後、松長有慶会長（高野山真言宗管長）より「日本語と仏教」と題して法話が行われた。法話の中で松長会長は、「日本語には多くの仏教語が含まれ、日本文化と日本人の精神文化に大きな役割を果たしてきたことを再認識し、仏教徒はより一層の社会貢献することが肝要である」と述べ、会場から大きな拍手が送られた。

その後、国会議員の紹介があり、衆議院議員で国家公安委員会委員長 拉致問題担当大臣 中井治氏が民主党を代表して、先の選挙の御礼を含めた挨拶があった。

続いて自由民主党総裁 谷垣禎一氏、みんなの党から浅尾慶一郎氏が挨拶に立った。

来賓を代表して部落解放同盟中央本部 中央執行委員長 組坂繁之氏より挨拶があり、引き続き中村文峰副会長（臨済宗南禅寺派管長）の発声により乾杯。

国会議員と参加者が名刺交換等を行い、和やかな雰囲気の中に懇談が行われた。

西村輝成副会長（東京ブディストクラブ会長）の中締めにて午後七時に閉会となった。

### 機関誌『全仏』広告募集のお知らせ

機関誌『全仏』は、月刊一万部発行され、全日本仏教会加盟団体・各地の寺院の方に購読されています。（年十回発行）

広告掲載ご希望の方は、左記全日本仏教会事務局までお問い合わせ下さい。

※ 加盟団体からのご紹介も受けたいしております。

全日本仏教会 広報文化部  
電話 03-3437-9275  
FAX 03-3437-3260  
E-mail kouho@jbfne.jp



国家公安委員会委員長拉致問題担当大臣中井治氏による挨拶、及び登壇する民主党議員

# 年 新 賀 謹

## 曹洞宗宗務庁

管 長 福 山 諦 法  
 宗務総長 測 英 徳  
 参 議 羽 仁 素 道  
 参 議 藏 山 光 堂  
 教学部長 佐々木 孝 一  
 財務部長 山 路 純 正  
 総務部長 須 川 法 昭  
 教化部長 宮 下 陽 祐  
 伝道部長 千 葉 省 三  
 人事部長 村 松 延 行  
 出版部長 中 野 重 哉

東京都港区芝二一五一—  
 〒105-8544 ○三(三四五四)五四一—  
<http://www.sotozen-net.or.jp>

## 浄土真宗本願寺派

総 長 橘 正 信  
 総 務 園 城 義 孝  
 総 務 本 多 隆 朗  
 総 務 養 藤 了 文  
 総 務 西 脇 修 見  
 総 務 池 田 行 信  
 本廟局長 阿 部 慶 一  
 宗門長期振興計画  
 推進対策室長 足 利 善 彰  
 釋尊大七皇子皇孫遷  
 中央法要事務所長 成 川 和 行  
 教学伝道研究  
 センター所長 浅 井 成 海  
 本願寺宗務首都圏  
 センター所長 山 内 教 嶺  
 総局公室長  
 宗務企画室長 富 永 慎 秀  
 会 行 事 今 小 路 覚 真

京都市下京区堀川通花屋町下ル  
 〒600-8501 ○七五(三七二)五一八一—  
 F A X ○七五(三五二)一一二一—

## 真宗大谷派

宗務総長 安 原 晃  
 参 務 長 務 杉 浦 義 孝  
 参 務 竹 田 惠 示  
 参 務 黒 川 紘 紀  
 参 務 林 治  
 参 務 江 尻 静 哉

京都市下京区烏丸通七条上ル  
 〒600-8505 ○七五(三七二)九一八一代表  
 常葉町七五四

## 浄土宗

浄土門主 坪 井 俊 映  
 宗務総長 里 見 法 雄  
 総務局長 安 井 昭 雄  
 教学局長 桂 大 瀛  
 財務局長 吉 水 光 慈  
 社会国際局長  
 社会福祉推  
 進事務局長 里 見 嘉 嗣  
 文化局長 柴 村 堯 海  
 総長公室長 井 澤 隆 明  
 人権同和室長 伊 藤 喬 淳  
 宿禰大六皇  
 大遠忌事務局長 光 成 範 道  
 職 員 一 同

浄土宗宗務庁  
 京都市東山区林下町四〇〇一八  
 〒605-0062 ○七五(五二五)二二〇〇(代)  
 F A X ○七五(五三二)五一〇〇五  
 東京都港区芝公園四一七一四  
 〒105-0011 ○三(三四三三)三三五一(代)  
 F A X ○三(三四三四)〇七四四  
<http://www.jodo.or.jp>

## 日蓮宗



【宗門運動スローガン】  
 合掌こそは、お釈迦様の理想の  
 世界。  
 お互いがお互いを敬いあい、  
 いのちの尊さに気づくこと。

お題目のご縁をいただく私たちが  
 が自ら人を敬い、  
 いのちの尊さを人々に示し、  
 社会を明るくすることが宗門運  
 動の目的です。  
 「いのちに合掌」。  
 世界を変えていく、日蓮宗の合  
 い言葉です。

東京都大田区池上一一三二一—  
 〒146-8544 ○三(三七五)七一八一—  
 F A X ○三(三七五)七一八六—  
<http://www.nichiren.or.jp/>

# 年 新 賀 謹

## 總本山金剛峯寺 高野山真言宗

座長	松長有慶	管長	永島龍弘	執行部長	永島龍弘	宗務部長	永島龍弘	總務部長	永島龍弘	執學部長	村上保壽	執法部長	飛鷹全隆	執財部長	森寬勝	執山林部長	山階清隆	總長公室長	岡部兼海	社会人局長	深真樹	教學部次長	倉岡弘叔	內事長	柏田良辯	奥之院維那	加古原大岳	伽藍維那	坎宥行	東京別院主監 東京宗務出張所長	四之宮弘孝	堀川別院主監 京都宗務出張所長	佐々木弘傳	和歌山県伊都郡高野町高野山一三二 〒648-0294 〇七三六(五六)二〇一一 FAX 〇七三六(五六)四六四〇 <a href="http://www.koyasan.or.jp/">http://www.koyasan.or.jp/</a>
----	------	----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	-------	------	-------	------	-------	-----	-------	------	-----	------	-------	-------	------	-----	--------------------	-------	--------------------	-------	---

## 臨濟宗妙心寺派宗務本所

管長	東海大光	宗務部長	松井宗益	總務部長	松山英照	教學部長	栗原正雄	財務部長	松久宗心	本部園會長	林学道	法務部長	土井克彦	花園園會長 (兼)松山英照	京都市右京区花園妙心寺町六四 〒616-8035 〇七五(四六三)三二二一 <a href="http://myoshinjior.jp/">http://myoshinjior.jp/</a>
----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-----	------	------	------------------	---

## 天台宗務庁

天台座主	半田孝淳	宗務部長	阿純孝	總務部長	杜多道雄	法人部長	山田亮清	財務部長	阿部昌宏	參學部長	齊藤圓眞	參社會部長	村上圓竜	參一隅を照らす 運動總本部長	福惠善高	大津市坂本四丁目六番二号 〒520-0113 〇七七(五七七)〇〇二二 FAX 〇七七(五七七)二五二六 <a href="http://www.tendator.jp/">http://www.tendator.jp/</a>
------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	-------------------	------	---

## 真言宗智山派宗務庁 總本山智積院法務所

管長	阿部龍文	宗務部長	岡部快圓	總務部長	小宮一雄	教學部長	細川大憲	教化部長	岡野忠正	法務部長	江連俊裕	財務部長	芙蓉良英	宗務出張所長 別院執事	高麗行真	京都市東山区東大路七条下ル 東瓦町九六四 〒605-0951 〇七五(五四)二五三六一 <a href="http://www.chisan.or.jp/">http://www.chisan.or.jp/</a>
----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	----------------	------	--

## 真言宗豊山派宗務所

管長	小野塚幾澄	宗務部長	川田聖成	總務部長	高橋秀三	財務部長	五十嵐賢二	教務部長	粕谷利通	教化部長	小倉秀清	教化センター長	大越恒範	真言宗豊山派総合研究院 院長	加藤精一	東京都文京区大塚五十四〇一八 〒112-0012 〇三三(九九五)〇六三九 FAX 〇三三(九九五)〇七〇二 <a href="http://www.huzan.or.jp/">http://www.huzan.or.jp/</a>
----	-------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	---------	------	----------------	------	---

# 年 新 賀 謹

天台眞盛宗務所  
総本山 西教寺

管 長 西村 岡紹

宗務総長  
執事 長 武田 圓寵

教学部長 三津 堯賢

財務部長 藤上 良英

社会部長 砂原 圓凝

庶務部長 色井 秀宰

滋賀県大津市坂本五―三―一  
〒520-0113 〇七七(五七八)〇〇一三  
FAX 〇七七(五七八)三四一八

融 通 念 佛 宗  
総本山 大念佛寺

法管 主長 倍 巖 良 舜

宗務総長 吉村 暲 英

法教学部部長 中江 慈 光

庶務部長 岡田 眞澄

財務部部長 北川 全 宏

大阪市平野区平野上町 一―七―二六  
〒547-0045 〇六(六七九)〇〇二六  
http://www.dainenbutsuji.com/

法華宗陣門流

管 長 椿澤 日壽

宗務総長 佐古 弘文

総務部長 門谷 光瑞

教学部長 布施 義高

教化部長 佐古 大弦

財務部長 金原 孝宜

宗務参事 今井 満良

法華宗宗務院  
東京都豊島区巢鴨五―三―五―一六  
〒170-0002 〇三(三九一八)七二九〇  
FAX 〇三(三五七〇)〇一一一

真言宗醍醐派宗務本庁  
総本山 醍醐寺 寺務所

座管 主長 麻生 文雄

宗務総長  
執行 長 仲田 順和

総務部長 田村 照晃

教学部長 田中 祐考

財務部長 壁瀬 宥雅

京都市伏見区醍醐東大路町二二  
〒601-1325 〇七五(五七二)〇〇〇二  
FAX 〇七五(五七二)〇一〇一  
http://www.daigoji.jp  
携帯電話でも御覧頂けます。



財団法人 埼玉県佛教会

会 長 藤田 得三

副 会 長 萩野 映明

同 木村 盛雄

専務理事 深谷 雅良

常務理事 穂山 教雄

同 加藤 玄静

同 倉持 秀裕

同 杉村 良哉

事務局 長 金子 嘉広

さいたま市浦和区高砂 四―一―三一―一八  
〒330-0063 〇四八(八六一)二二三八  
FAX 〇四八(八六四)六六四九  
http://saibutunet/

# 年 新 賀 謹

## 大阪府仏教会

会 長 増田 貞圓  
(真宗大谷派 圓勝寺)

副会長 北村 日照  
(日蓮宗 櫛笥寺)

同 森田 俊朗  
(和宗 四天王寺)

同 村山 廣甫  
(曹洞宗 東光院)

同 森 快隆  
(真言宗 葛井寺)

事務局 長 井桁 雄弘  
(浄土宗 大圓寺)

事務局 次長 二上 寛弘  
(真言宗 釈迦院)

事務局  
大阪市住吉区墨江三十一十七一八  
大圓寺内  
〒558-0043 〇六(六六七)三二五九  
FAX 〇六(六六七)五〇〇四

## 社団法人 全日本仏教婦人連盟

名誉会長 鷹司 誓玉

会 長 大谷 貴代子

副会長 稲山 霊芳

同 大賀 美都子

同 末廣 久美

理事長 島田 喜久子

事務局 長 林 恵智子

東京都渋谷区千駄ヶ谷  
四一五十一一〇二〇五  
〒151-0051 〇三(五七七)〇六七七  
FAX 〇三(五七七)〇六七七  
<http://jbwf.jp> E-mail: info@jbwf.jp

## 財団法人 仏教伝道協会

会 長 沼田 智秀

理事長 福山 諦法

理 事 中西 智海

同 木村 清孝

同 桂 紹隆

同 門脇 邦彦

監 事 中野 東禅

同 野村 邦武

〒108-0014  
東京都港区芝四三二一四  
電 話 〇三(三四五五)五八五一  
FAX 〇三(三七七八)二七五八  
<http://www.bdk.or.jp>

## 孝道山 本仏殿

第二世統理 岡野 正貫

副統理 岡野 鄰子

第三世統理 岡野 正純

横浜市神奈川区鳥越三八  
〒221-0064 〇四五(四三三)二二〇一

## 真言宗須磨寺派 大本山須磨寺

貫 主 小池 弘三

寺務 長 吉井 恵貫

神戸市須磨区須磨寺町四一六一八  
〒654-0071 〇七八(七三三)〇四一六

## 真言三寶宗 大本山清澄寺

法管 主 長 坂本 光謙

宗務 長 岡田 康秀

執行 長 有井 良隨

鉄斎美術館  
館 長 森藤 光宣

宝塚市米谷字清シ一番地  
〒665-0837 〇七九七(八六六)六六四一  
FAX 〇七九七(八六六)六六六〇  
<http://www.kiyoshikojin.or.jp>

## 信貴山真言宗 総本山朝護孫子寺

管 長 田中 真瑞

長 老 鈴木 鳳永

宗務 長 鈴木 貴晶

寺務 長 野澤 密孝

奈良県生駒郡平群町信貴山  
二二八〇一一  
〒636-0923 〇七四五(七二二)二二七七

# 年 新 賀 謹

<p><b>顕本法華宗</b></p> <p>管 長 中村 日玄</p> <p>宗務総長 藤崎 広学</p> <p>京都市左京区岩倉幡枝町九十一 〒606-0015 ○七五(七七九)七一七一 FAX ○七五(七七九)七二六七</p>	<p><b>本門佛立宗</b> <b>本山宥清寺</b></p> <p>講 有 小山 日誠</p> <p>宗務総長 佐藤 日鳳</p> <p>本山宥清寺 〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入 滝ヶ鼻町一〇〇五番地の一 TEL ○七五(四六三)四六二〇(代) FAX ○七五(四六三)四六五一 本門佛立宗 宗務本庁 〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る 東堅町一〇番地 TEL ○七五(四六六)一一六六(代) FAX ○七五(四六六)五五九九 URL <a href="http://www.honnon-butsumyushu.or.jp/">http://www.honnon-butsumyushu.or.jp/</a></p>
<p><b>東京都仏教連合会</b></p> <p>会 長 清水谷 孝尚</p> <p>理事長 山田 一眞</p> <p>事務局長 新倉 典生</p> <p>東京都足立区梅田一―二十六―十 善立寺内 〒123-0851 ○三(三八八)六一三六七 FAX ○三(三八八)八二五二</p>	<p><b>愛知県仏教会</b></p> <p>会 長 吉田 教行</p> <p>副会長 田畑 修身</p> <p>同 伊藤 正導</p> <p>同 岩木 涼山</p> <p>名古屋市昭和区高峯町四八 普蔵寺内 〒466-0811 ○五(二八三)九九二〇</p>
<p><b>財団法人 国際仏教興隆協会</b></p> <p>名誉会長 塩川 正十郎</p> <p>印度山王 半田 孝淳</p> <p>理事長 安田 暎胤</p> <p>事務総長 正本 乗光</p> <p>役員 一同</p> <p>東京都目黒区中目黒五―二四―五三 〒153-0061 ○三(三七七)一七六〇八 FAX ○三(三七七)一七六七三 <a href="http://homepage2.nifty.com/nip-ponji/">http://homepage2.nifty.com/nip-ponji/</a> E-mail: <a href="mailto:ibba@nifty.com">ibba@nifty.com</a></p>	<p><b>妙見宗</b></p> <p>管 長 野間 秀昭</p> <p>宗務総長 谷口 真祐</p> <p>妙見宗宗務本庁 大阪府豊能郡能勢町野間中七一八 〒563-0132 ○七(二七七)〇〇二八 FAX ○七(二七七)一八五八</p>
<p><b>聖観音宗 浅草寺</b></p> <p>貫 首 清水谷 孝尚</p> <p>東京都台東区浅草一―三一― 〒111-0032 ○三(三八四)〇一八一 FAX ○三(三八四)六九三三</p>	<p><b>宗教法人 念法眞教</b></p> <p>総本山 金剛寺</p> <p>大阪府鶴見区緑三―四―一二 〒538-0054 ○六(六九二)二二〇一 <a href="http://www.renpoushinkyou.jp/">http://www.renpoushinkyou.jp/</a></p> <p><b>真言宗大覚寺派宗務庁</b> <b>大本山大覚寺</b></p> <p>管門 長跡 下泉 恵尚</p> <p>京都市右京区嵯峨大沢町四 〒616-8411 ○七五(八七二)〇〇七一 FAX ○七五(八七二)〇〇五五</p>
<p><b>総本山 根来寺</b></p> <p>新義真言宗宗務所</p> <p>和歌山県岩出市根来二二八六 総本山 根来寺内 〒649-6202 ○七三六(六二二)一四四 FAX ○七三六(六二二)一〇四四</p>	<p><b>真言宗中山寺派</b></p> <p>大本山 中山寺</p> <p>宝塚市中山寺二丁目十一―一 〒665-8588 ○七九九(八七七)〇〇二四 FAX ○七九九(八七七)九八七七 <a href="http://www.nakayamadera.or.jp">http://www.nakayamadera.or.jp</a></p> <p><b>真言宗 犬鳴派</b> <b>大本山 七宝瀧寺</b></p> <p>管 長 東條 仁哲</p> <p>真言宗犬鳴派宗務所 大阪府泉佐野市大木八 〒598-0023 ○七二四(五九九)七〇四三 FAX ○七二四(五九九)七〇五〇</p>

# 年 新 賀 謹

<p><b>臨濟宗南禪寺派</b></p> <p>宗務総長 後藤 憲雄</p> <p>京都市左京区南禪寺福地町八六 〒606-8435 〇七五(七七)〇三六五 FAX 〇七五(七七)六九八九 http://www.nanzennet E-mail: info@nanzennet</p>	<p><b>西山浄土宗 総本山光明寺</b></p> <p>法管 主 長 岩田 文有 内局 一同</p> <p>京都府長岡京市粟生西条ノ内二六一 〒617-0811 〇七五(九五)〇〇〇二 http://www.komyo-ji.or.jp</p>	<p><b>東寺真言宗</b></p> <p>宗務総長 橋本 尚信</p> <p>京都市南区九条町一 東寺真言宗宗務庁 〒601-8473 〇七五(六七)三七一七 FAX 〇七五(六六)六八五六</p>
<p><b>岐阜県仏教会</b></p> <p>岐阜市西野町三一 〒500-8882 〇五八(二六)七八〇三 FAX 〇五八(二六)七八〇三 http://bukkyo.gifu.nev</p>	<p><b>北海道仏教会連盟</b></p> <p>会長 寺井 紹道</p> <p>札幌市中央区北三条西十九丁目二一 浄土真宗本願寺派北海道教区教務所内 〒060-0003 〇一一(六一)九六二三</p>	<p><b>臨濟宗円覚寺派</b></p> <p>大本山 円覚寺</p> <p>鎌倉市山ノ内四〇九 〒247-8503 〇四六七(一一)〇四七八 http://www.engakuji.or.jp/</p>
<p><b>愛媛県仏教会</b></p> <p>会長 齋藤 友敏 副会長 片井 祥雲 同 二宮 泰慶</p> <p>四国中央市川之江町一七七五 宅善寺内 愛媛県佛教会事務局 〒799-0101 〇八九六(五八)三三〇〇</p>	<p><b>滋賀県仏教会</b></p> <p>会長 西村 問紹</p> <p>滋賀県大津市坂本五一三三一 総本山西教寺内 滋賀県仏教会事務局 〒520-0113 〇七七(五七)八〇〇一三 FAX 〇七七(五七)八三四一八</p>	<p><b>静岡県仏教会</b></p> <p>会長 稲井 弘宣</p> <p>静岡県伊豆の国市中條二 真珠院 〒410-2121 〇五五(九四)三五四四</p>
<p><b>金峯山修験本宗 天台寺門宗 和宗</b></p> <p>真言宗善通寺派 真言宗御室派 真言宗山階派 真言宗泉涌寺派 真言宗国分寺派 浄土宗西山禅林寺派 浄土宗西山深草派 真宗高田派 真宗仏光寺派 真宗興正派 真宗木辺派</p>	<p><b>全日本仏教青年会</b></p> <p>理事長 宮寺 守正</p> <p>埼玉県富士見市勝瀬四七〇一一 大願寺内 〒354-0031 〇四九(二五)九〇〇九 FAX 〇四九(二五)四〇八二二</p>	<p><b>日本佛教鑽仰会</b></p> <p>理事長 中山 静磨</p> <p>東京都板橋区舟渡四一五五一 〒174-0041 〇三(三九)六七三二八八</p>
<p>時宗 臨濟宗建長寺派 臨濟宗相国寺派 臨濟宗東福寺派 黄檗宗 法華宗本門流 法華宗真門流 本門法華宗 法相宗 聖徳宗 華嚴宗 真言律宗 律宗 青森県仏教会 岩手県仏教会 福島県仏教界 茨城県仏教会 栃木県仏教会 群馬県仏教連合会 千葉県仏教会 神奈川県仏教会 新潟県仏教会 石川県仏教会 福井県仏教会 山梨県仏教会 長野県仏教会 京都府仏教会 京都府仏教連合会 兵庫県仏教会 和歌山県仏教会 鳥取県仏教連合会 島根県仏教会 岡山県佛教会 (社)徳島県仏教会 香川県仏教会 高知県仏教会 福岡県仏教連合会 長崎県仏教連合会 宮崎県仏教連合会 沖縄県仏教会 (社)日本仏教保育協会 東京ブディストクラブ 仏教情報センター</p>		

# 年 新 賀 謹

## 賛助会員

### 〔特別会員〕

大本山東福寺 永井 慶洲  
 蓮華院誕生寺 川原 英照  
 大本山南禅寺 中村 文峰  
 尾道仏教会 松岡 昭禮  
 實相山中央寺 南澤 道人  
 信州 善光寺事務局

### 〔団体会員〕

京セラ株式会社  
 大和証券(株) 法人サポート部  
 野村證券(株) 法人企画部  
 (株) JTB 法人東京第一事業部  
 トップツアール株式会社  
 近畿日本ツーリスト株式会社  
 財団法人ライフプランニングセンター  
 日本テンブルヴァン株式会社  
 株式会社 三州社  
 株式会社 信天堂  
 株式会社 図書印刷同朋舎  
 株式会社 京念珠刑部  
 株式会社 オードリー  
 有限会社 ルンビニ  
 株式会社 オメガコム  
 株式会社 京扇堂  
 株式会社 公益社  
 株式会社 タイセイ  
 学校法人 真宗大谷学園  
 日韓仏教交流協議会  
 全日本宗教用具協同組合  
 全日本葬祭業協同組合連合会

岩手県葬祭業協同組合  
 東京都葬祭業協同組合  
 神奈川県葬祭業協同組合  
 岐阜県葬祭業協同組合  
 名古屋葬祭業協同組合  
 愛知県葬祭業協同組合  
 京都中央葬祭業協同組合  
 大阪葬祭業協同組合  
 大阪市規格葬儀指定店事業協同組合  
 徳島県中央葬祭業協同組合  
 長崎県葬祭業協同組合  
 社団法人 全日本冠婚葬祭互助協会

### 〔個人会員〕

稲盛 和夫(京セラ株式会社名誉会長)  
 社本 公一(公認会計士)  
 池田 行信(浄土真宗本願寺派 総務)  
 石上 智康(浄土真宗本願寺派 宗会議員)  
 塩月 光夫(浄土真宗本願寺派 宗会議員)  
 高橋 篤法(浄土真宗本願寺派 宗会議員)  
 武田 昭英(浄土真宗本願寺派 宗会議員)  
 中田 清吉(浄土真宗本願寺派 宗会議員)  
 村上 智真(浄土真宗本願寺派 宗会議員)  
 村橋 吉重(浄土真宗本願寺派 宗会議員)  
 天性寺 毛利 俊行(山形県)  
 西福寺 志鳥 融光(茨城県)  
 東栄寺 大森 忠篤(埼玉県)  
 獅子吼会 大塚 日正(東京都)  
 本照寺 境野 哲秀(東京都)  
 慈眼寺 櫻井 英幸(東京都)  
 玉林禅寺 長谷 琢堂(東京都)  
 信松院 西村 輝成(東京都)  
 圓滿寺 西郊 良光(神奈川県)

正泉寺 野澤 隆幸(神奈川県)  
 本光寺 木村 光正(静岡県)  
 秋月院 近藤 真道(愛知県)  
 光泉寺 松山 公顯(愛知県)  
 精明寺 疋田 哲壽(鳥取県)  
 櫻田 佳正(京都府)  
 安田 容造(京都府)  
 川嶋 英彦(千葉県)  
 赤松 広隆(民主党 衆議院議員)  
 枝野 幸男(民主党 衆議院議員)  
 大串 博志(民主党 衆議院議員)  
 楠田 大蔵(民主党 衆議院議員)  
 小宮山洋子(民主党 衆議院議員)  
 仙谷 由人(民主党 衆議院議員)  
 高木 義明(民主党 衆議院議員)  
 田島 一成(民主党 衆議院議員)  
 原口 一博(民主党 衆議院議員)  
 平岡 秀夫(民主党 衆議院議員)  
 前原 誠司(民主党 衆議院議員)  
 松本 謙公(民主党 衆議院議員)  
 松本 剛明(民主党 衆議院議員)  
 三日月大造(民主党 衆議院議員)  
 横光 克彦(民主党 衆議院議員)  
 和田 隆志(民主党 衆議院議員)  
 大塚 耕平(民主党 衆議院議員)  
 佐藤 公治(民主党 衆議院議員)  
 佐藤 泰介(民主党 衆議院議員)  
 鈴木 寛(民主党 衆議院議員)  
 田名部匡省(民主党 衆議院議員)  
 白 眞勲(民主党 衆議院議員)  
 林 久美子(民主党 衆議院議員)  
 福山 哲郎(民主党 衆議院議員)  
 藤谷 光信(民主党 衆議院議員)  
 前田 武志(民主党 衆議院議員)  
 峰崎 直樹(民主党 衆議院議員)  
 岩屋 毅(自由民主党 衆議院議員)  
 金子 恭之(自由民主党 衆議院議員)  
 河村 建夫(自由民主党 衆議院議員)  
 高村 正彦(自由民主党 衆議院議員)  
 下村 博文(自由民主党 衆議院議員)  
 高市 早苗(自由民主党 衆議院議員)  
 中川 秀直(自由民主党 衆議院議員)  
 長勢 甚遠(自由民主党 衆議院議員)  
 野田 毅(自由民主党 衆議院議員)  
 平沢 勝栄(自由民主党 衆議院議員)  
 保利 耕輔(自由民主党 衆議院議員)  
 岩永 浩美(自由民主党 衆議院議員)  
 木村 仁(自由民主党 衆議院議員)  
 鈴木 政二(自由民主党 衆議院議員)  
 谷川 秀善(自由民主党 衆議院議員)  
 中川 雅治(自由民主党 衆議院議員)  
 二之湯 智(自由民主党 衆議院議員)  
 自見庄三郎(国民新党 衆議院議員)  
 浅尾慶一郎(みんなの党 衆議院議員)  
 金田 誠一(前衆議院議員)  
 上川 陽子(前衆議院議員)  
 久間 章生(前衆議院議員)  
 小坂 憲次(前衆議院議員)  
 関 芳弘(前衆議院議員)  
 西川 京子(前衆議院議員)  
 萩山 教嚴(前衆議院議員)  
 平田 耕一(前衆議院議員)

(順不同、敬称略)

# 年 新 賀 謹

### 会長

松長 有慶

### 副会長

清水谷孝尚

中村 文峰

東條 仁哲

椿澤 日壽

大野 玄妙

若槻 繁隆

橋本 明禪

西村 輝成

### 理事長

豊原 大成

### 常務理事

測 英徳

橋 正信

竹田 恵示

小林 正道

小松 浄慎

庄野 光昭

松井 宗益

阿 純孝

岡部 快圓

川田 聖戌

### 理事

森田 俊朗

岡野 正純

桶屋 良祐

立部 祐道

伊藤 隆泰

山田 一眞

本間 孝康

加藤 朝雄

加納 博司

稲井 弘宣

増田 貞圓

服部 文昭

### 監事

林 晋堂

萩野 映明

吉田 教行

### 評議員

佐々木孝一

池田 行信

田代 賢治

里見 嘉嗣

張田 珠潮

四之宮弘孝

松山 英照

谷 晃昭

上杉 照延

粕谷 利通

武田 圓籠

座間 光覚

守山 雄順

谷口 真祐

壁瀬 宥雅

吉井 恵貫

岡田 康秀

東條 仁靖

杉浦 秀祐

高倉 隆乘

吉川 恵教

高木 貞歡

松浦 浩道

佐分 宗順

青木 謙整

二瓶 海照

佐古 弘文

藤崎 広学

村上 太胤

古谷 正覚

佐伯 龍幸

寺井 紹道

佐藤 彰瑞

小保方教円

姉川 慈濟

足立 泰教

家森 宏善

玉久 圭澄

小角 隆幸

一月 正人

高橋 順海

善國 乘憲

島田 喜久

宮寺 守正

### 参与

田中 利典

黒髪 寛延

石堂 恵眼

久我 儼昭

大谷 義博

中江 慈光

今杉 康道

高井 正俊

竹内 正道

川手 誠誓

筒井 寛昭

横山 俊邦

都筑 玄澄

山口 祐哉

高岸 義昭

長澤 香静

小宮 一雄

山田 本然

津村 泰雅

高山 久照

逸見 道郎

安孫子虔悦

### 総務財政審議会

山崎 孝裕

尾井 貴童

小林 潤一

吉水 光慈

長 亮行

森 寛勝

松山 英照

谷 晃昭

芙蓉 良英

五十嵐賢二

大谷 義博

矢吹 慈英

新倉 典生

近藤 真道

林 恵智子

長谷川正浩

宮川 宏生

安田 松慶

### 社会人権審議会

伊藤 謙允

三明 淨信

譽田 和人

伊藤 喬淳

田澤 元泰

深 真樹

神代 紹文

源田 俊昭

小宮 一雄

小島 恵真

健代 和央

本多 静芳

吉田 道興

望月 哲也

長谷川正浩

小林 正道

枝木 美香

守屋 友江

岸本 洋平

### 国際交流審議会

山下 昭文

桐林 三巳

禿 信敬

戸松 義晴

持田 貫信

村上 保壽

渡邊 宗徹

一島 正真

岡野 忠正

粕谷 利通

正本 乘光

坂本 観泰

奈良 康明

松壽 弘道

小笠原隆元

成田 孝英

大谷 哲夫

北川 前肇

塩入 法道

ケネス・タナカ

渡辺 章悟

川橋 範子

### 宗教教育推進委員会

宇野 全智

藤丸 智雄

柴田 達也

柴村 堯海

望月 哲也

岡部 兼海

花岡 博芳

杉谷 義純

細川 大憲

粕谷 利通

星野 英紀

奈良 康明

齋藤 昭俊

島園 進

藤原 聖子

安井 育美

西岡 久善

### 広報委員会

松尾 徹裕

宮川 善裕

齋藤 明聖

柴村 堯海

太田 順祥

岡部 兼海

並木 優記

福井 邦彦

杉本 栄次

上田 則夫

山本 昭弘

虎山 義秀

高山 久照

### 顧問弁護士

長谷川正浩

### 事務総局

深澤 信善

事務総長

総務部

奈良 慈徹

入西 智彦

小宮 加奈

財務部

江口 智流

加久保範祐

江澤みゆき

社会人権部

飯島 尚之

白井 雄仁

広報文化部

中村 澄枝

西野 良嘉

国際部

壽山 良光

藤田 宗玄

酒井 仁成

関西支局長

松山 英照

支局員一同

(敬称略)

### 岐阜県仏教会 サイパン慰霊追悼法要執行

太平洋戦争時、サイパンでは約六万人が犠牲になったと言われており、多数の岐阜県出身者も犠牲者に含まれている。

岐阜県仏教会は県民に呼びかけ、一九九〇年にサイパン島中心地のガラパンに六角慰霊堂「南溟堂」を建立、九五年には「平和の鐘」を安置し、以後五年おきにサイパン島で慰霊を続けている。

本年十一月も山川宗玄師（正眼寺住職）を団長に寺町研山岐阜県仏教会会長、杉山令憲岐阜県仏教会理事長ら僧侶、遺族、一般参加者計四十名が現地を訪れた。

現地では法要が南溟堂にて営まれ、参加者は焼香し鐘をついて犠牲者を弔い平和を祈願した。岐阜県仏教会と遺族を代表して加納博司岐阜県仏教会常任顧問と清水俊さんが追悼文を読み上げた。

（岐阜新聞より一部転載）

岐阜県仏教会ホームページ

<http://bukkyogifunet/>

### 日本ネパール協会主催 「ネパール情勢講演会 第三弾」

十一月十三日、新宿中村屋にて、藤原直（ネパール連邦民主共和国駐在日本大使館 公使参事官）を迎え講演会が開催された。

ネパールでは今年五月にマオイストが政権から離脱し、コンGRESS党と統一共産党（UML）主体の連立政権によって政治が行われている。来年五月に新憲法制定を目指しているが、その為には議会の三分の二の賛成が必要であり、主要政党の一致団結が必要である。

ネパールの現状を「幸運の女神の後ろ髪を掴めるかどうか？」という言葉に例え、今回の民主化で失敗をしたら、ネパールのダメージは大きいだろうと語った。

経済に於いては、中間層の消費が伸びていて、最近ではカトマンズ市内でショッピングモールが増えているのが目に付くという。

また、カトマンズ市内では人口増加の影響で計画停電が行われているが、農村部などでは小規模発電が行われているため、むしろ電力は安定しているという。ホテルに関してには自家発電があるので旅行者などには影響はないとの話も伺えた。

### 全日本仏教会「賛助会員」

#### 入会者一覧

（十一月十一日～十二月十日）

【団体会員】

株式会社 ダイセイ

（敬称略）

ご入会誠にありがとうございます。

引き続き、皆様のご入会をお待ちしております。本会ホームページから賛助会員要綱・申込書などが閲覧・プリントアウトできます。  
<http://www.jbfnc.jp>

#### 全国の寺院にお願い

個人の入会にあつては、入会希望者の菩提寺の推薦を頂くことになりました。

加盟団体傘下の各寺院の皆様にはご負担をおかけいたしますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

### 「救済基金」寄付者名

（十一月十一日～十二月十日）

浄土宗平和協会

ご支援誠にありがとうございます（敬称略）

仏教界挙げての人的活動のため、引き続きご協賛をお願い申し上げます。

【郵便振替】

口座番号 00110-9-704834

口座名義 全日本仏教会救済基金

【銀行振込】

中央三井信託銀行 本店営業部  
口座番号 0973031  
口座名義 財団法人全日本仏教会

### 映画『禅』—ZEN— DVD発売のお知らせ



中村勘太郎主演にて、道元禅師の生涯を描いた大作映画『禅』のDVDが発売されました。

同映画は全米公開も決定し、英語字幕も収録。更にDVD特典映像には

- ・メイキング映像
- ・中村勘太郎 参禅研修—永平寺にて

・相田みつをと『禅』フォトギャラリー

等、見所が満載です。

本誌をご覧の方に、『禅』—ZEN—のDVDを三千円の特別価格にて頒布致します。詳細は左記までお問い合わせ下さいませ。

株式会社 道元禅師の映画を一緒に

つくる会

〒一六〇—〇〇二二

東京都新宿区新宿一—二三一六

グロイン新宿御苑二〇二

電話 〇三—五三六八—一八九

FAX 〇三—五三六八—〇六九

# 事務総局録事

十一月(十一月三十日)

- 十一日 ▼ 松長有慶会長・豊原大成 理事長・深澤信善事務総 長懇談(東京プリンスホ テル)
- ▼ 二〇〇九年度 部落解放 ・人権政策確立要求第一 次中央集会出席(憲政記 念館)
- ▼ 第十八回 前田武志政策 研究会出席(第一ホテル 東京)
- 十二日 ▼ 政府主催天皇陛下御即位 二十年記念式典(国立劇 場) 天皇陛下御即位二十 年奉祝委員会主催祝賀式 典 松長有慶会長参列 (皇居前広場)
- ▼ 第四十四回 大阪府仏教 徒大会出席(ホテル日航 大阪)
- ▼ 無料法律相談室
- ▼ 全日本仏教徒会議栃木大 会事務局会議出席(栃木 県仏教会事務所)
- 十三日 ▼ (社)日本ネパール協会 主催「ネパール情勢講演 会 第三弾」出席(新宿 中村屋)
- 十六日 ▼ 文化庁主催 新公益法人 の移行認定に関する説明 会出席(文部科学省)
- ▼ 時宗取材(神奈川県 遊 行寺)
- ▼ 内閣官房・外務省・厚生 労働省文化庁宗務課来局
- 十七日 ▼ ハンセン病隔離の百年を 問う東京集会出席(九段 会館)
- ▼ 大和証券 佐藤氏来局
- 十八日 ▼ 岡山 操山中学校生徒三 名来局
- ▼ (財)国際仏教興隆協会文 化講座「第五回 インド はどこへ行くのか」出席 (梅窓院)
- ▼ (株)中外日報社 津村氏 来局
- 十九日 ▼ 局内会議
- 二十日 ▼ 全日本仏教徒会議栃木大 会実行委員会出席(栃木 県 観専寺)
- ▼ 神奈川県仏教会主催「平 成二十一年度 釈尊成道 会」参加及び取材(神奈 川県 西有寺)
- 二十一日 ▼ 第五十五回長野県仏教 徒上伊那大会出席(長 野県駒ヶ根総合文化セ ンター)
- ▼ 文化庁主催「不活動宗 教法人対策会議」講師 派遣(岡山コンベンシ ョンセンター)
- 二十五日 ▼ 社会人権審議会(社会 部会)
- ▼ 部落解放同盟中央本部 との懇談会(虎ノ門「北 大路」)
- ▼ 朝日ビジネスソリュー ション来局
- 二十六日 ▼ BNN企画委員会出席 (庭野平和財団事務所)
- 三十日 ▼ 豊原理事長と打合せ
- ▼ 宗教法人審議会出席
- ▼ 明照会館 自衛消防隊の 活動訓練実施
- ▼ (社)全日本仏教婦人連盟 主催「東儀秀樹チャリテ ーコンサート」取材(五 反田ゆうぽうとホール)
- 一日 ▼ 局内会議
- 三日 ▼ 世界宗教会議出席(オース トリア メルボルン)
- ▼ 第二十九期会長・副会長推 戴委員会(ザ・プリンスパ ークタワー東京)
- ▼ 第二回理事会・評議員会・ 参与会(同右)
- ▼ 財団創立五十周年記念事業 実行委員会 解散報告式 (同右)
- ▼ 仏教懇話会(同右)
- 四日 ▼ 浄土真宗本願寺派本願寺宗 務首都圏センター職員来局
- 八日 ▼ ネパール統一共産党幹事長 他来局
- ▼ 世界人権宣言六十一周年記 念東京集会出席(日本教育 会館)
- 九日 ▼ 東京仏教連合会主催「成道 会の集い」参加(九段会館)
- ▼ (財)日本宗教連盟 幹事会 出席(新宗連会館)
- 十日 ▼ 無料法律相談室

## 地域仏教会情報集のお知らせ

全日本仏教会では、地域仏教会の情報を募集しております。仏教会の活動や取り組みに関してのご寄稿・写真を左記事務総局までお寄せ下さい。

※ 都道府県仏教会、市町村仏教会及び本会未加入の仏教会の情報も歓迎致します。

全日本仏教会 広報文化部

電話 〇三―三四三七―九二七五

FAX 〇三―三四三七―三二六〇

E-mail kouho@jfbfne.jp

